中篭貴船神社獅子舞【なかごもりきふねじんじゃししまい】

開催場所　嘉麻市平
貴船神社および中篭地区内

開催日　5 月 11 日

【芸能の概要】

中篭貴船神社獅子舞は明治年間（1868～1912）か、それ以前に始まったと伝えられている。綱分八幡宮（庄内町）の獅子舞の流れをくむものといわれ、昭和 3 年の御大典を記念して復活した。貴船神社の春祭りに奉納されるもので、神社のほか各隣組長宅などで舞いが行われる。1 日かけて地区内を回った後、最後に貴船神社で馬場入り･神殿入りを行う。獅子舞と同時に「子供の太鼓打ち」が行われる。

【芸能の特徴】

中篭貴船神社獅子舞は、地元の話では明治期か、それ以前に始まったと推測されるが、詳細は定かではない。庄内町の綱分八幡宮から獅子舞を教わったといわれている。

獅子舞が始められて以降、明治時代に一時中断したといわれているが、その後大正年間には復活し、昭和 3 年の昭和天皇即位御大典の際に現在の舞とほぼ同じ型の舞が確立。以後、戦時中も休止することなく継続して行われている。

【使用する祭具・道具など】

囃しは笛、大太鼓、小太鼓、銅拍子（中篭では、カネという）の構成で、笛の人数は舞う場所により人数が 3～5 名と異なる。また、道行きの際、道囃子も行う。

・アクセス

西鉄 山野社宅バス停から徒歩 5 分
西鉄 中篭バス停から徒歩 10 分

・周辺の観光

文化ふれあい伝承館、山野石像群
スポーツプラザ（屋内球技場）、ふるさと資料室
桜まつり（4 月）、子供野外映画会（8 月）
町民運動会（10 月）、産業まつり（11 月）

・近くの特産品

直方ダルマ、いちご、ラン、成金饅頭。